（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援ふぉるて

公表日　2026年　月　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	一度に10人が活動しているのではなく、３部制になっているのでスペースは問題ないと思われる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	５人にスタッフ３～４人で安全に過ごすことができている。	余裕のある配置で常に安心して支援に取り組みたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚支援を多く取り入れており、わかりやすい空間になっていると思う。	常に構造化に心掛け、初めての方にも安心できわかりやすいところとなるようにしたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		余分な物を置かずすっきりとした空間を心がけていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	0	和室がいつでも使える状況にあり、使用することもあった。	臨機応変に対応できるように準備をしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎回活動ごとに振り返りを行い、よりよい支援を目指している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ご意見をありがたく頂戴し業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎年集計結果を従業員に提示し、今後の取り組みについて話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	第三者による評価はできていない。	アドバイザーの意見を取り入れ改善点があれば見直しをしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部講師を招いての研修会や公認心理師によるケース相談を月に１回実施している。また、今年から各種オンライン研修を取り入れ	積極的に外部研修にも参加し、日常の支援に活かしていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6	1	ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	面談結果や日頃の様子を共有し合い、その子の適した計画作成に心掛けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	現場の保育士とカンファレンスを行い、それぞれの思いを共有し作成している。	カンファレンスに欠席した者は、後日内容を確認しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	時々、職員間で確認し合っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	基本は観察で評価しつつ、必要に応じて検査等を実施している。	事例検討の際、利用していくようにしたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	本人が達成できそうな目標を心がけ、また現場で支援できる具体的な支援内容を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	話し合う機会が常にある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	子どもたちだけでなく、職員同士も楽しめるように工夫している。	スタッフも一緒に楽しめる内容にしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	必要に応じて担当の保育士が付き活動していることも多い。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	日ごとにスタッフが入れ替わるので、活動前の打ち合わせをとても大事にしている。	活動がスムーズに進み事故のないようにしていくためには欠かせないものです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	0	次回への改善点も全員が周知できていると思う。	こちらも短時間でもその時の気づきを共有し明日の申し送りを大事にしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	できる限りその日のうちに記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要時、連携させていただいている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保護者様の同意の上で必要時情報共有し、よりより支援に結びつくことができるようにしている。	その子の将来のこともしっかりと考え、今どこでどんな支援が必要かということを説明していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	年長児には、「サポートかけはしシート」による情報共有を実施している。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	2	5	児童発達支援センターとはあまり連携がとれていない。	今後必要があれば、是非連携させていただきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		全員園に通っている児のため、今のところ交流は必要ないと思われる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	常に心がけている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	今年度初めて公認心理師によるﾍﾟｱﾚﾝﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの研修会を実施した。	好評で良い研修会となったため、今後も継続していきたいと思います。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧に実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0	一般論でなくその子、家族の思いを尊重し支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	常に丁寧な説明を心がけている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	半年に１回の面談と、必要時月１回の定期面談を実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	年に１、２回だが、それ以外にもお迎えの時に顔を合わせることができる。	保護者同士の交流の機会は少ないので、今後は意識していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	その都度迅速に対応させていただいている。	今後も同じように対応させていただきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に１回通信を発行し、様子を確認していただいている。	今後も継続してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	地域の方々とは日頃から挨拶をし合い、活動の理解をしていただいている。	今後も継続してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	計画的に実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	計画的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	事前の確認事項として提出していただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	事前の確認事項として提出していただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し各時期には点検や確認を実施している。	今後も継続してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		今後、しっかりとご家族へ周知させていただきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	時々確認し合い、忘れることのないようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	毎年、研修会を実施し振り返りを行っている。また、今年からオンライン研修を取り入れた。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束をする場面は、今のところほとんどない。	今後、必要時取り組んでいきたいと思います。